

ロボプロステーションチャレンジカップ ルール規定

2008 年 4 月 21 日 第 1 稿
問合せ先 : info@robo-pro.net



第3回ロボプロステーションチャレンジカップ

1. 競技について

1-1. 競技について

〔試合開始について〕

試合は、審判の合図『ファイト』により開始とする。

ダウンやスリップにより試合が一旦中断した場合においても、審判の合図により試合再開となる。

〔試合時間について〕

3分1ラウンド、3ダウン制

試合開始後、ロボットが試合開始状況にない場合も試合は開始される。

なお、リング上にロボットがいない状態が1分経過するごとに1ダウンとする。

〔スリップについて〕

- 1)相手の有効な攻撃以外で、ロボットの足裏以外の部分がリング面に接地したときスリップダウンとする。
- 2)相手にダウンを与えた時に、ロボットの足裏以外の部分がリング面に接地したときはスリップダウンとカウントしない。
- 3)2回スリップダウンした場合は1ダウンとする。
- 4)1スリップが与えられて後、1ダウンを奪われた場合、直前のスリップはクリアとする。

〔ダウンについて〕

- 1)相手の有効な攻撃により、ロボットの足裏以外の部分がリング面に接地したときを1ダウンとする。
- 2)ロボットがリングアウトした場合は、1ダウンとする。
ダウンした後の起上がり中にリングアウトした場合は、ダウン数にカウントしない。
スリップ中のリングアウトは直前のスリップを取り消し、代わりに"リングアウト"による1ダウンとする。
攻撃と同時に両者がリングアウトした場合、相手にダウンを与えたロボットはダウンとはしない。
- 3)ロボットが3秒を超えて停止した場合はスタンディングダウンとし、1ダウンとする。
- 4)タイムを申請した場合、1ダウンとし本戦の場合1分間のタイムが与えられる。
- 5)2回スリップダウンした場合は、1ダウンとする。

〔勝敗(ノックアウト)について〕

- 1)ダウン後・スリップ後に10カウント以内に復帰できない場合を「ノックアウト」とし、試合を相手のものとする。

第3回ロボプロステーションチャレンジカップ

- 2)同一試合内で3回ダウンした場合、その試合を相手のものとする。
- 3)ロボットオペレータが試合続行不可能と判断し、審判に申請・受理された場合。
ロボット同士が重り合って倒れた場合でも試合は継続する。
但し、審判が危険と判断した場合は、ロボットを倒れた状態のまま離れた場所に設置する場合がある。
- 4)試合時間内で勝負がつかない場合は、試合内にダウン数が少ないロボットの勝利とする。
ダウン数が同じ場合はその時点でスリップ数が少ないロボットの勝利とする。
スリップ数も同じ場合はオペレーター同士のじゃんけんにより勝敗を決める。
但し、準決勝・3位決定戦・決勝戦はその限りではない。
2分間の延長戦をもうけ、先に1ダウンを獲得したロボットの勝利。
延長戦後も勝敗がつかない場合は上記同様スリップ数 じゃんけんにより勝敗を決める。

〔タイムについて〕

- 1) 出場者は、1試合中に何度でもタイムを審判に対して申告することが出来る。
- 2) タイムの時間は1分以内とし1回申請するごとに1ダウンとする。
- 3)タイムは自分のロボットが有効な攻撃を受けてダウンしているときは受理されない。
- 4)タイムは審判に受理された場合にのみ適応される。

〔ご注意いただきたい点〕

- 1)スポーツマンシップに反する行為があった場合、退場をお願いする場合があります。
- 2)大会中に無線の混線が予想されますので、試合中バックヤードでの無線利用をお控えください。

2. ロボットレギュレーション規定・出場資格
各競技種目により定める。